

令和7年度 第2回 吹田市立図書館協議会(会議要録)

開催日時:令和7年(2025年)10月30日(木)午後2時～4時

開催場所:吹田市立中央図書館4階集会室

出席委員:瀬戸口会長、日置副会長、大坪委員、岡委員、岸本委員、岩本委員、領木委員

欠席委員:山口委員、飯田委員、上村委員

事務局:二宮地域教育部長、大平中央図書館長、桑名参事、添田主幹、栗生主幹、谷川江坂図書館長、澤井さんくす図書館長、迫田千里山・佐井寺図書館長、高砂千里丘図書館長、長尾健都ライブラリー館長、佐野山田駅前図書館長、川本北千里図書館長(指定管理事業者)

傍聴者:1名

I 令和7年度 第2回 吹田市立図書館協議会次第

1 「令和6年度(2024年度)吹田市立図書館点検・評価報告書(案)」について

2 吹田市立図書館におけるシニアサービスの取組について

3 報告事項

(1) 「令和6年度(2024年度)実施事業 教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検・評価報告書」について

(2) 吹田市立図書館におけるシステム機器更新に伴う臨時休館について

(3) 吹田市立図書館の報告事項

4 その他

(1) 退任委員について

(2) 次回日程について

(3) その他

II 会議要録

1 「令和6年度(2024年度)吹田市立図書館点検・評価報告書(案)」について
(事務局説明)

日置委員:(サービス方針7の指標)ボランティア総数について、11名の増加ということだが、ボランティア養成講座に参加したがボランティアに登録しない方も結構いるということか。

迫田館長:令和6年度は養成講座参加後、登録される方が例年に比べ少なかった。講座申込前の説明が不足していたのではないかと考え、令和7年度はより丁寧に説明するように改めた。また、すでに登録しているボランティアは高齢化もあり、活動の休止・退会もあり目標どおりの増加にはならなかった。

岸本委員:養成講座定員分増(40名増)という目標をクリアするためには、受講者全員がボランティア登録し、かつ、誰も辞めないという状態でしか達成はできないという理解で合っているか。

大平館長:(指標は)養成講座定員分増としているが、図書館のボランティアには個人で随時登録して参加できる図書館フレンズの活動もあり、人数増につながる募集の枠がある。サービス基本計画の期間は10年間と長期のため、指標の数値が置けるものについては、毎年度の目標の中に置いており、当該の指標については、講座の定員を基準にして計っている。

2 吹田市立図書館におけるシニアサービスの取組について (事務局説明)

領木委員:拡大読書器は市内のどこの図書館でも使うことができるのか。使い方が分からないときはどうすればよいか。

添田主幹:山田分室以外は設置している。職員が使い方の説明をする。

澤井館長:フロアに常設型がある館と持ち運び型を置いている館がある。持ち運び型については、御利用の際にお声がけいただいている。

領木委員:図書館にて開催される講座には全て手話通訳があるか。

添田主幹:主な講座には手話通訳をつけている。

二宮部長:手話通訳について補足する。令和5年度に手話言語等促進条例*が議員提案で議会に提出され、可決された。合理的配慮で当然のことだが、様々なサービスにおいて手話通訳をつける配慮がなされるようになった。条例が制定・施行されたことによって動きが加速されたと認識している。

*吹田市手話言語の普及及び障害者の意思疎通手段の利用を促進する条例

領木委員:期待している。

岡委員:図書館フレンズのボランティア高齢者の割合はどのくらいか。

澤井館長:図書館フレンズは登録時に年齢は確認していないため、年齢層の割合は不明だが、平日・休日問わず高齢者の参加が多いように感じている。

岡委員:年齢制限はあるのか。

澤井館長:年齢制限はない。吹田市在住・在勤・在学の方であれば、どなたでも登録いただける。

岸本委員:子供は児童書の貸出数など指標が得られやすいと思う。シニアサービスの指標は、高齢者施設に(貸出)以外に取り方はあるのか。

大平館長:「吹田市の図書館活動」の18ページから年齢別(の貸出比較)という項目を設けており、貸出数についての分析は行っている。ただ、シニアサービスを1つの事業として枠を

区切った定義はしていない。色々なサービスの中からシニアの利用が多いものを、シニアサービスと定義すれば、そのサービスについての数字は把握している。

大坪委員:あらゆる市民を対象にしたサービスということで、学校の子供たちに対して色々な活動をしていることは承知していたが、シニアサービスの話を聞き、一人一人みんなが大事にされていると感じ温かい気持ちになった。丁寧に色々な視点から取組を考えていることはありがたいと思う。課題もあるだろうが、期待の大きい取組なので、推進してほしい。

3 報告事項

(1) 「令和6年度(2024年度)実施事業 教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検・評価報告書」について

(事務局説明)

(質疑応答なし)

(2) 吹田市立図書館におけるシステム機器更新に伴う臨時休館について

(事務局説明)

領木委員:中央図書館の自習室の席数は何席あるのか。

栗生主幹:150席ある。

岩本委員:オンラインの座席予約を実施する必要があるほど、よく利用されているのか。

栗生主幹:学生のテスト期間には満席となることが多い。

岡委員:「同一サイトでの図書館の所蔵資料と電子書籍の一括検索」とある。今は吹田市立図書館とすいた電子図書館それぞれ別のWebサイトがあり、それぞれで所蔵の書籍を検索しているが、それが一つのサイトになるということか。

栗生主幹:図書館の所蔵検索サイトで電子書籍の結果も出るようになる。サイト自体は別だが、連携して(一括で)検索が可能になる。図書館の所蔵検索サイトから電子書籍のサイトに移行して読めるようになる。

(3) 吹田市立図書館の報告事項について

・「すいた電子図書館の「るるぶ」読み放題パック」について

添田主幹:コンテンツ25点を購入した。人気エリアの最新版がアクセス無制限で10月から利用できるようになった。予約待ちをすることなくいつでも利用でき、この1か月弱の利用状況は好調。各図書館のガイドブックのコーナーにポスター掲示をしてPRしている。

日置委員:「るるぶ」の読み放題について、最新版から人気の25点とのことだが1年後はどうなるのか。1年後は最新版でなくなるということか。

添田主幹:読み放題パックは1年契約で終了する。

・「出張登録会」について

高砂館長:10月2日、3日の2日間、吹田市役所の正面玄関ロビーで、図書館カードの出張登録会を開催し、14人の登録があった。今回で3回目の実施。市民課の前で登録会を行ったので、吹田市への転入者にPRすることができた。また、図書館から足が遠のいていた利用者にもPRができた。ブックスタートの絵本のプレゼントや乳幼児の読み聞かせの案内もでき、よいPRになったので今後も定期的に開催したい。

・「令和7年度第22回図書館フェスタじゅずつなぎ」について

迫田館長:毎年秋の読書週間に合わせて実施している大人向け行事で、今年は4つの講座と、6つの行事を企画した。講座のうち、2つはすでに開催済みで、盛況だった。昨年度まで夏に実施していた「見て、聴いて、さわって楽しむ読書の世界 in すいた」を、今回は「図書館フェスタじゅずつなぎ」のひとつとして実施する。読書が困難な方も、そうでない方も一緒に楽しめる、バリアフリー読書支援サービスの行事として、多くのボランティアの協力のもと、体験型イベントとして開催する。

・「健都フェス2025」について

長尾館長:健都の街全体のイベントで、今年は11月16日に開催予定。市職員は毎年「青空えほんのじかん」として、大型絵本や大型紙芝居の読み聞かせを行っている。子供から大人まで楽しめるイベントが盛りだくさんで、健都の街を知ることができるウォークラリーも実施する。

・「まちきたオータムフェスタ」について

川本館長:まちなかりビング北千里で行う大型イベント。年2回開催の大型イベントの1つに位置付け、11月22日の開館日を記念して、11月の週末に多数のイベントを開催する。音楽イベント「音のおくりもの」では、吹田市出身の方を演奏者に招き、ベビーカーや車いすの優先席を設けて、年代を問わず、どなたでも参加いただける。そのほか、市民の方や市内の大学・団体に協力いただき、様々なイベントを予定している。

4 その他

(1)退任委員について

(委員挨拶)

(2)次回日程について

(事務局説明)